

塞一人轉自勃海相隨歸朝、○下

〔續日本紀三十九〕延曆七年二月辛巳、授從五位下錦部連姉繼從五位上、無位安倍小殿朝臣堺武生連朔並從五位下、並皇太子乳母也、

〔日本後紀平城十七〕大同三年十二月戊辰、无位笠朝臣道成從五位下、道成皇大弟○嵯乳母也、特有此叙、

〔文德實錄〕嘉祥三年五月壬午、天皇誕生、有乳母姓神野、先朝之制、每皇子生、以乳母姓爲之名焉、

〔三代實錄清和四〕貞觀二年十月廿九日乙巳、正三位行中納言橘朝臣岑繼薨、岑繼者贈太政大臣正一位清友朝臣孫、而右大臣贈從一位氏公朝臣之長子也、氏公朝臣是仁明天皇之外舅、岑繼所生是仁

明天皇之乳母、故天皇龍潛之日、陪於藩邸、稍蒙寵幸、○中齋衡二年、進爵爲正三位、三年拜中納言、薨時五十七、

〔後拾遺和歌集二十〕めのとせんとてまてきたりける女のちのほそく侍りければ、よみ侍りける、

大江匡衡朝臣

はかなくも思ひけるかなちもなくてはかせの家のめのとせんとは

返し

赤染衛門

さもあらばあれやまと心しかしこくはほそちにつけてあらずばかりぞ

〔玉海〕治承三年二月十日戊戌、後聞亥刻、關白○藤原基房室、參東宮、○安其儀、庇車之後、出衣出車二兩、檜

毛侍各二人、著束帶、副之、前駟殿上人八人、清道朝臣(中將)顯家朝臣(少將)兼宗(同)忠長(少將)侍從此中、

光長爲後騎、云々、諸大夫十八人、四位扈從公卿三人、春宮大夫兼雅、中宮權兼雅卿、勤車寄、檢非違

使隨身等不供奉、云々、先於右衛門陣外、昇放車、向門立之、立次藏人家實仰輦、次引入車、下家司六人

前駟上騰二人、參入之後、不經幾程退出、有牽出物、琵琶一面、兼雅卿取、執政室爲乳母之例、古今未有、

隨時宜被起、始例、歟、誠是、可謂順時務、賢哉、々々、竊以可彈指、